

2024 年度 後期 在宅看護学講座

【トピックゼミⅣ】

10月15日(火)

令和6年1月の被災先である氷見市に出向き、保健師さん方から当時の活動についての講義をしてもらいました。
また、氷見市内の様子も見学してきました。



氷見市 市民部健康課 保健師さん

研修に先立ち、ゼミ毎に質問項目の検討を重ねた

各避難所の健康管理は？
避難所の巡回・設置・サポートは？

心のケアにどのようなアプローチをするの？
避難所でのTKB(トイレ・キッチン・ベッド)は？

12月25日(水)

DMAT(災害医療派遣チーム)の活動について講義をしてもらいました。



富山大学附属病院 看護師さん

地域災害コーディネーターはどのような役割？
保健師の中でチームはあった？

能登への出動

講義資料より

1月1日	16:10地震発生 院内被災対応 16:30院内本部立ち上げ 当院への避難者対応
1月2日	10:00 DMAT派遣要請(富山県DMAT調整本部より) 14:30 DMAT出動(1隊目)、富山県内からは計6チーム派遣 16:30 公立能登総合病院(参考拠点)到着、待機 珠洲市や輪島市へのアクセスに要3~4時間、翌日より活動予定へ
1月3日	9:00 柳田温泉病院(能登町)の病院調査へ出発 13:50 柳田温泉病院到着、病院調査及び病院支援開始
1月4日	13:30 病院支援活動終了、次隊への引き継ぎ、撤収 18:40 公立能登総合病院到着、活動終了報告・情報共有 21:00 富山大学附属病院へ帰還



【学び】

- ・災害前からサポートが必要な人を把握しておく
- ・ガイドラインを整え、食品や備品を備えておく
- ・災害時におけるTKBの迅速な対応を行い、安心感を提供する
- ・連携はその場その場で必要なもの同士で行う
- ・医療は需要と供給のバランスを確保することで災害関連死を防ぐ

1年生・2年生合同発表会

1年生

<1年生の課題>

自分たちで課題を見出し、話し合いを重ねまとめました

『幼児のデジタルメディア使用による影響』
『化粧療法』
『冷え性について』



2年生

<2年生の課題>

前期からの継続課題であり、フィールドワークや聴講してまとめ上げました



『研修を通しての学びと考察』
『TKBと精神状態の関連』
『災害関連死防止のための医療機関連携』



【看護研究Ⅱ】卒業研究発表会



大学生における歯科検診・口腔状態の実態
と課題の検討



医療的ケアが必要な在宅療養者に対する地
域のリソースに必要な災害対策に関する文
献検討



新人看護師のストレス要因及びストレスが
形成される仕組みについての文献レビュー

3期生の皆さん
ご卒業おめでとうございます
在宅看護学講座一同

